

令和5年度 府中小学校区通学路交通安全総点検 実施結果

日時: 令和5年6月29日(木)

番号	危険箇所	内容	対策
①	市道鴨川陶線の一部 (別紙①箇所)	道幅が狭い上に、端の白線も消えており、歩行者の横を自動車が行き交う際に危険を感じる。	外側線の引き直しを検討するとともに、気を付けて歩くよう指導する。
②	市道鴨川陶線と市道綾坂線の交差点	一時停止の表示はあるものの、道幅が狭く、見通しも悪い。	一時停止の規制、交差点のカラー化等既に対策済。道路を横断する際にきちんと安全確認するよう指導する。
③	市道綾坂線の踏切部(JR予讃線)	踏切が道路幅よりも狭く、登校時間帯には常に自動車でもみ合う横を児童が横断しており、危険である。	踏切横断時にきちんと安全確認するよう指導する。
④	市道鴨川陶線と市道開法寺線の交差点	一時停止の標識がないため、スピードを落とさずに横断歩道にむかってくる自動車も多い。	停止線、減速を促す道路標示を既に設置しているため、追加の対策は難しい。横断歩道の白線部が消えかかっているため、塗り直しを検討する。
⑤	県道善通寺府中線の一部 (別紙⑤箇所)	歩道のすぐ横を自動車が行っている。柵やガードレールもないため、歩行中に危険を感じる。	歩道の幅員が十分あり、かつ歩道面の高さもあるので、追加の対策は難しい。歩行する際に道路側ではなく、建物側を通るように指導する。
⑥	県道善通寺府中線の一部 (別紙⑥箇所)	歩道に覆いかぶさるように木が茂っている上に、草も生い茂っているため、歩みにくい状況となっている。	草刈りを実施する。
⑦	市道開法寺線の一部 (別紙⑦箇所)	通学時間帯は交通量が多い。坂道を勢いよく走ってくる自動車が多い上に、歩道部分も狭く危険である。	横断歩道の予告表示が消えかかっているため、塗り直しを検討する。また、道路標識が草木で見えにくくなっているため、草刈りを検討する。
⑧	市道鴨川陶線と市道岡1号線の交差点	変則的な形の交差点であり、道幅が狭くなる箇所に横断歩道がある。通学時間帯の交通量が多く、危険がある。	横断歩道、一時停止等の対策を既にしているため、追加の対策は難しい。安全確認を十分し、横断するよう指導する。

府中小学校区通学路交通安全総点検箇所図

